

皆さんが納めた税金は、どのように使われたのでしょうか？ 昨年度の南国市の収入と支出についてお知らせします。

総括

〔 財政調整基金、減債基金から 3 億7,739万 8 千円
(対前年度の 4 倍) を取り崩し、実質収支4,839万
2 千円の黒字 〕

南国市普通会計の決算状況は、歳入が226億1,229万 7 千円、歳出は222億683万 3 千円で、歳入歳出差引額は 4 億546万 4 千円となり、翌年度への繰越事業の財源 3 億5,707万 2 千円を除くと4,839万 2 千円の黒字となりました。

平成12年度と比べ、歳入歳出が大きく増加しましたが、これは一般廃棄物最終処分場本体工事が最終年度を迎えたこと、国体競技施設整備事業等による市債の元利償還が始まったことによる公債費増大などが主な要因です。

今後は、公債費負担適性化計画に基づき、市債発行の抑制や繰上償還の実施など財政健全化の取り組みが急務となっています。

* 普通会計とは？

一般会計・住宅新築資金等貸付事業特別会計・土地取得事業特別会計の合計額から、繰り入れや繰り出しなど、会計間の重複額を控除した統計上の会計区分です。



歳入

〔 景気低迷などによる財源不足を
基金からの繰入金で対応 〕

歳入総額は、226億1,229万 7 千円で前年度決算額に比べて19億625万円 (9.2%) の増額となりました。

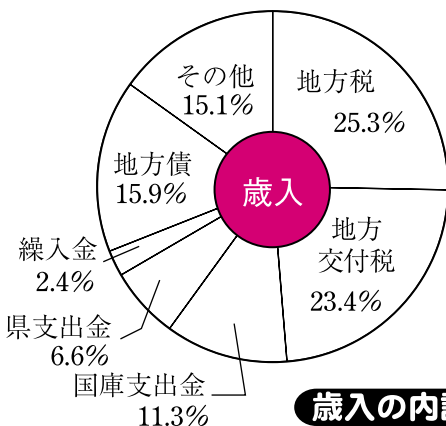
主な内容について、地方税は、景気低迷により個人・法人市民税が前年度に比べて減ですが、固定資産税の増収により全体として6,056万 8 千円 (1.1%) の増額となりました。

しかし、普通交付税は2年続けての減額 (対前年度 2 億5,533万 5 千円の減) となっています。国庫支出金は、災害復旧費関係で減ですが、最終処分場整備事業、小学校校舎改築事業、公営住宅改築・新築事業に伴う増で、2 億4,134万 4 千円 (10.4%) の増額となりました。

また、県支出金は、介護予防拠点整備事業、高知県工業用地整備事業などの新規事業により、2 億5,815万 7 千円 (20.9%) の増額、地方債は、最終処分場整備、市道新設、小学校校舎増改築事業などに伴い、発行額が 9 億9,330万円 (38.0%) の大幅な増額となりました。

基金からの繰入金は、大型事業や公債費負担に対応するため前年度より 4 倍以上となりました。

() 内%の数字は対前年度比



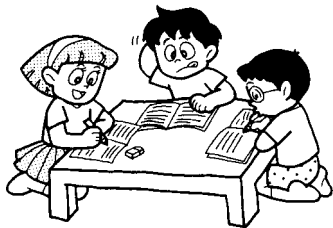
地方税	57億 1,781万 3千円
地方交付税	52億 9,153万 6千円
国庫支出金	25億 5,677万 3千円
県支出金	14億 9,365万 7千円
繰入金	5億 3,562万 4千円
地方債	36億 410万円
その他	34億 1,279万 4千円
計	226億 1,229万 7千円

市民の税負担は？

1人あたりの市税負担額 110,766円		(1世帯あたりの負担額 278,000円)		
固定資産税 58,350円 (146,448円)	市民税 42,156円 (105,803円)	たばこ税 7,885円 (19,789円)	軽自動車税 1,955円 (4,906円)	その他 420円 (1,054円)

* () 内は 1 世帯あたりの負担額です。

平成14年 3 月31日現在の南国市人口50,166人、世帯数19,988世帯で計算したものです。



歳出

「一般廃棄物最終処分場整備事業や
公営住宅改築・新築事業、小学校
校舎改築事業に重点を置く」

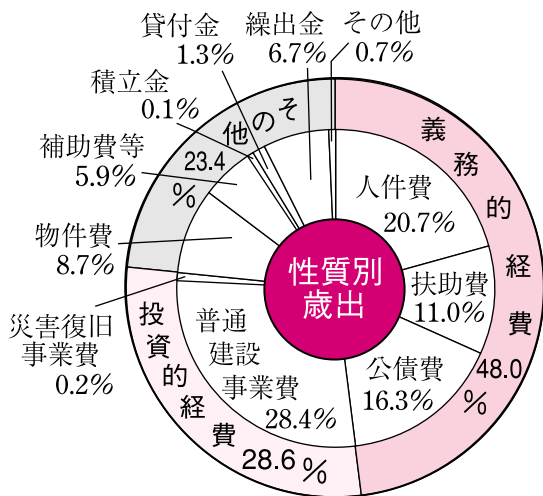
歳出総額は、222億683万3千円で前年度決算額に比べて21億1,032万3千円（10.5%）の増額となりました。

性質別歳出の状況は、義務的経費のうち、人件費は8,700万円（1.9%）の増額となりましたが、これは主に退職者の増によるものです。扶助費は、1億8,454万5千円（8.1%）の増で、公立保育所の民営化による民営保育所委託料の増などによります。

投資的経費は、一般廃棄物最終処分場整備事業が最終年であったことや、公営住宅の改築・新築事業、小学校校舎改築事業などの増がその要因となり、12億9,425万9千円（25.8%）の大幅な増額となりました。

物件費は、住民基本台帳及び税システム導入による電算委託料、評価替えに伴う鑑定委託料の増により7,642万3千円（4.1%）の増額、補助費等では、南国市企業立地促進奨励金制度の新設や香南清掃組合負担金の増により3億5,195万2千円（37.1%）の増額となりました。

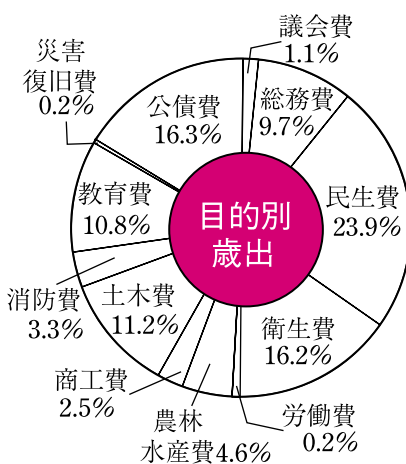
（ ）内%の数字は対前年度比



性質別歳出の内訳

義務的経費	106億6,904万7千円
人件費	45億8,891万3千円
扶助費	24億5,293万3千円
公債費	36億2,720万1千円
投資的経費	63億5,091万1千円
普通建設事業費	63億1,488万8千円
災害復旧事業費	3,602万3千円
その他	51億8,687万5千円
物件費	19億2,310万7千円
補助費等	13億58万7千円
積立金	1,951万2千円
貸付金	2億9,269万円
繰出金	14億8,520万2千円
その他	1億6,577万7千円
計	222億683万3千円

目的別歳出の内訳



議会費	2億3,862万5千円
総務費	21億4,889万8千円
民生費	53億1,312万9千円
衛生費	36億723万円
労働費	3,636万3千円
農林水産費	10億1,770万6千円
商工費	5億6,702万3千円
土木費	24億8,884万6千円
消防費	7億2,186万8千円
教育費	24億390万6千円
災害復旧費	3,602万3千円
公債費	36億2,721万6千円
計	222億683万3千円

1人あたりの 決算額は？

市民1人あたりにするとどのくらいのお金が使われているのか？

おおまかですが、それぞれ目的別に計算してみました。

右の数字は、平成14年3月31日現在の市の人口50,166人で計算したものです。

1人あたりに対する支出額 442,668円

議会費 4,757円	労働費 725円	消防費 14,390円
総務費 42,836円	農林水産費 20,287円	教育費 47,919円
民生費 105,911円	商工費 11,303円	災害復旧費 718円
衛生費 71,906円	土木費 49,612円	公債費 72,304円